



2026年5月26日

各 位

東京都渋谷区東一丁目26番30号  
会社名 株式会社 W I Z E  
代表者名 代表取締役 CEO 藪 考 樹  
(コード番号: 3664 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理管掌 知久峻輔  
(TEL.03 - 6820 -4191)

### (開示事項の経過)

## 「第三者割当による第36回新株予約権（行使価額修正条項付）、第37回新株予約権、第38回新株予約権の資金使途変更」に関するお知らせ

当社は、2025年11月4日付「(開示事項の経過)「第2回無担保普通社債(少数私募)の不発行」及び「第三者割当による第36回新株予約権(行使価額修正条項付)、第37回新株予約権、第38回新株予約権の資金使途変更に関するお知らせ」において、第2回無担保普通社債(少数私募)を発行しないこと、また、社債を発行しないことで社債を償還することが不要になり、併せてお知らせした新株予約権の発行及び行使により調達した資金の具体的な使途につきましても変更することをお知らせしましたが、この度下記のとおり再度変更することといたしましたので、お知らせいたします。併せて、2026年5月15日付「第三者割当による第39回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及び新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」において、最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況として現時点における充当状況をお知らせしましたが、下記のとおり変更することといたしましたことを、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 変更の理由

当社は、IP投資育成事業の一環として推進している「ソラナ・トレジャリー事業」において、暗号資産(ソラナ)の保有及びステーキング運用等を通じた収益基盤の強化を図っております。当初資金使途として予定していた500百万円については、既にソラナの購入を完了しておりますが、2026年12月期第一四半期決算説明資料にて発表した新戦略に基づき、今後の収益力向上及び事業基盤の安定化を目的として、追加で200百万円をソラナの購入資金へ充当することといたしました。

これに伴い、資金使途を「暗号資産(ソラナ)を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用として550百万円」から「暗号資産(ソラナ)を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」

の運用として750百万円」へ変更し、その原資として、「子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金、新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金として533百万円」を子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金、新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金として333百万円」へ変更するものであります。

追加取得したソラナについては、ステーキング運用を行う予定であり、保有数量の増加に伴うステーキング報酬の増加が見込まれるほか、バリデータ運用による報酬も期待できます。当社としては、当該取り組みを通じて「ソラナ・トレジャリー事業」における収益獲得を更に確かなものとし、財務基盤の強化を図ることで、継続企業の前提に関する注記の解消及び上場維持基準の改善期間中にある状況からの脱却を目指してまいります。

## 2. 変更の内容

変更箇所は、下線を付して表示しております。

### 【2025年11月4日付「（開示事項の経過）「第2回無担保普通社債（少人数私募）の不発行」及び「第三者割当による第36回新株予約権（行使価額修正条項付）、第37回新株予約権、第38回新株予約権の資金使途変更に関するお知らせ」】

（変更前）

#### 4. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

##### （2）調達する資金の具体的な使途

本新株予約権の発行及び割当予定先による本新株予約権の行使によって調達する資金の額は合計約1,364,200,000円となる予定であり、調達する資金の具体的な使途については、次のとおり予定しています。

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
①本社債の償還	0	—
②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用	<u>550</u>	2025年10月～2026年10月 (※)
③SIAP関連（M&Aの際に必要な費用）	100	2025年11月～2027年6月
④子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金、新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金	<u>533</u>	2025年11月～2027年6月
⑤運転資金	181	2025年11月～2027年6月
合計	1,364	

※②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用の支出予定時期につきましては、2025年11月開始から2025年10月開始に変更しております。2025年10月24日付適時開示「（開示事項の変更）暗号資産（ソラナ）の購入時期変更に関するお知らせ」をご参

照下さい。

調達する資金の使途の詳細は以下のとおりです。

#### ②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用

本新株予約権による調達資金のうち550百万円を、2025年11月から2026年10月にかけて、ソラナ・トレジャリー事業の推進に関連して必要となる、ソラナの購入費用、新規事業としてのソラナ・トレジャリー事業の起ち上げに当たり要する費用及び当該事業における開発費用に充当する予定です。ソラナの具体的な購入金額及び購入時期につきましては現時点では未定であり、投資計画に基づき本新株予約権による調達資金の状況及びソラナの市場価格の状況をみながら進めてまいります。なお、ソラナ・トレジャリー事業に関しては、上記「2. 募集の目的及び理由①ソラナ・トレジャリー事業」に記載しております。

#### ④子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金及び新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金

本新株予約権による調達資金のうち533百万円を、2025年11月から2027年6月にかけて、上記「3. 資金調達方法の概要及び選択理由（1）資金調達方法の概要<本社債の概要> 11. 資金使途」の記載と同様の目的に充当する予定です。

具体的には、「子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金」として363百万円を充当する予定で、その内訳としては、既存の子会社及び投資先企業の成長資金として228百万円、M&A実施後に新たに当社子会社となった企業の成長資金として135百万円を充当する予定です。なお、現時点で具体的に決定しているM&Aはございません。また、「新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金」として170百万円を充当する予定で、内訳としては、当社のファッション事業を推進する資金として85百万円、将来の新規事業を推進する資金として85百万円を充当する予定です。

（変更後）

#### 4. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

##### （2）調達する資金の具体的な使途

本新株予約権の発行及び割当予定先による本新株予約権の行使によって調達する資金の額は合計約1,364,200,000円となる予定であり、調達する資金の具体的な使途については、次のとおり予定しています。

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
①本社債の償還	0	-
②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用	<u>750</u>	2025年10月～2026年10月 (※)
③SIAP関連（M&Aの際に必要な費用）	100	2025年11月～2027年6月
④子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子	333	2025年11月～2027年6月

会社を含む) ) 及び投資先企業の成長資金、新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金		
⑤運転資金	181	2025年11月～2027年6月
合計	1,364	

※②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用の支出予定時期につきましては、2025年11月開始から2025年10月開始に変更しております。2025年10月24日付適時開示「（開示事項の変更）暗号資産（ソラナ）の購入時期変更に関するお知らせ」をご参照下さい。

調達する資金の使途の詳細は以下のとおりです。

#### ②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用

本新株予約権による調達資金のうち750百万円を、2025年11月から2026年10月にかけて、ソラナ・トレジャリー事業の推進に関連して必要となる、ソラナの購入費用、新規事業としてのソラナ・トレジャリー事業の起ち上げに当たり要する費用及び当該事業における開発費用に充当する予定です。ソラナの具体的な購入金額及び購入時期につきましては現時点では未定であり、投資計画に基づき本新株予約権による調達資金の状況及びソラナの市場価格の状況をみながら進めてまいります。なお、ソラナ・トレジャリー事業に関しては、上記「2. 募集の目的及び理由①ソラナ・トレジャリー事業」に記載しております。

#### ④子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金及び新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金

本新株予約権による調達資金のうち333百万円を、2025年11月から2027年6月にかけて、上記「3. 資金調達方法の概要及び選択理由（1）資金調達方法の概要<本社債の概要> 11. 資金使途」の記載と同様の目的に充当する予定です。

具体的には、「子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金」として213百万円を充当する予定で、その内訳としては、既存の子会社及び投資先企業の成長資金として153百万円、M&A実施後に新たに当社子会社となった企業の成長資金として60百万円を充当する予定です。なお、現時点で具体的に決定しているM&Aはございません。また、「新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金」として120百万円を充当する予定で、内訳としては、当社のファッション事業を推進する資金として60百万円、将来の新規事業を推進する資金として60百万円を充当する予定です。

**【2026年5月15日付「第三者割当による第39回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」】**

（変更前）

11. 最近3年間の業績予備エクイティ・ファイナンスの状況

②第三者割当による第36回新株予約権、第37回新株予約権及び第38回新株予約権の発行

<p>現時点における充当状況</p>	<p>これまでに調達した資金につきましては、下記のとおり充当しております。</p> <p>①第2回無担保社債（私募債）の償還資金 100百万円：不発行 第2回無担保社債（私募債）の発行日までに第36回新株予約権及び第37回新株予約権の行使に際して出資された金額の合計額が100百万円を超えたため、発行しないこととなりました。</p> <p>②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用 504百万円：2025年10月～2026年3月 これまでに500百万円全額をソラナの購入に充当し、開発費用として4百万円を充当しておりますが、未充当分46百万円は2026年4月～2026年10月にかけて充当してまいります。</p> <p>③SIAP関連（M&amp;Aの際に必要な費用） 35百万円：2025年11月～2026年3月 未充当分65百万円は2026年4月～2027年6月にかけて充当してまいります。</p> <p>④子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金、新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金 86百万円：2025年11月～2026年3月 未充当分447百万円は2026年4月～2027年6月にかけて充当してまいります。</p> <p>⑤運転資金 35百万円：2025年11月～2026年3月 未充当分146百万円は2026年4月～2027年6月にかけて充当してまいります。</p>
--------------------	--

（注） 「発行時における当初の資金使途」欄には、発行決議の時点における当社が想定していた資金使途ごとの内訳が記載されております。もっとも、発行決議の時点以降、当社におけ

る資金需要の変化に伴い、当社は、資金使途の変更を行っており、現時点において充当された資金使途ごとの内訳は、「現時点における充当状況」欄に記載のとおり②についてはソラナの購入費用として500百万円を充当し、開発費用に50百万円を充当することとし、また④については533百万円、⑤については181百万円となっております。詳細につきましては、2025年10月15日開示の「（開示事項の経過）新たな事業の開始に関するお知らせに係るソラナ購入金額決定に関するお知らせ」、2025年10月24日開示の「（開示事項の変更）暗号資産（ソラナ）の購入時期変更に関するお知らせ」及び2025年11月4日開示の「（開示事項の経過）「第2回無担保普通社債（少人数私募）の不発行」及び「第三者割当による第36回新株予約権（行使価額修正条項付）、第37回新株予約権、第38回新株予約権の資金使途変更」に関するお知らせ」をご参照ください。

（変更後）

#### 11. 最近3年間の業績予備エクイティ・ファイナンスの状況

##### ②第三者割当による第36回新株予約権、第37回新株予約権及び第38回新株予約権の発行

<p>現時点における充当状況</p>	<p>これまでに調達した資金につきましては、下記のとおり充当しております。</p> <p>これまでに調達した資金につきましては、下記のとおり充当しております。</p> <p>①第2回無担保社債（私募債）の償還資金 100百万円：不発行 第2回無担保社債（私募債）の発行日までに第36回新株予約権及び第37回新株予約権の行使に際して出資された金額の合計額が100百万円を超えたため、発行しないこととなりました。</p> <p>②暗号資産（ソラナ）を活用した「ソラナ・トレジャリー事業」の運用 504百万円：2025年10月～2026年3月 これまでに500百万円をソラナの購入に充当し、開発費用として4百万円を充当しておりますが、未充当分246百万円は2026年4月～2026年10月にかけて充当してまいります。</p> <p>③SIAP関連（M&amp;Aの際に必要な費用） 35百万円：2025年11月～2026年3月 未充当分65百万円は2026年4月～2027年6月にかけて充当してまいります。</p> <p>④子会社（既存及び新規（SIAPにより取得した子会社を含む））及び投資先企業の成長資金、新規IPの創出及び新規事業の推進のための資金</p>
--------------------	--

	<p>86百万円：2025年11月～2026年3月 未充当分247百万円は2026年4月～2027年6月に かけて充当してまいります。</p> <p>⑤運転資金 35百万円：2025年11月～2026年3月 未充当分146百万円は2026年4月～2027年6月に かけて充当してまいります。</p>
--	---

(注) 「発行時における当初の資金使途」欄には、発行決議の時点における当社が想定していた資金使途ごとの内訳が記載されております。もっとも、発行決議の時点以降、当社における資金需要の変化に伴い、当社は、資金使途の変更を行っており、現時点において充当された資金使途ごとの内訳は、「現時点における充当状況」欄に記載のとおり②についてはソラナの購入費用として700百万円を充当し、開発費用に50百万円を充当することとし、また④については333百万円、⑤については181百万円となっております。詳細につきましては、2025年10月15日開示の「(開示事項の経過) 新たな事業の開始に関するお知らせに係るソラナ購入金額決定に関するお知らせ」、2025年10月24日開示の「(開示事項の変更) 暗号資産(ソラナ)の購入時期変更に関するお知らせ」及び2025年11月4日開示の「(開示事項の経過) 「第2回無担保普通社債(少人数私募)の不発行」及び「第三者割当による第36回新株予約権(行使価額修正条項付)、第37回新株予約権、第38回新株予約権の資金使途変更」に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 今後の見通し

資金使途の変更による業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

なお、第36回新株予約権及び第37回新株予約権につきましては現時点において全て行使が完了しております。第36回新株予約権の行使完了につきましては、2025年10月27日付適時開示「第36回新株予約権(行使価額修正条項付)の行使の大量行使、月間行使状況及び権利行使完了に関するお知らせ」を、第37回新株予約権の行使完了につきましては、2025年10月28日付適時開示「第37回新株予約権(固定行使価額型)の行使の大量行使、月間行使状況及び権利行使完了に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上